

組織・会則

岡山実験動物研究会役員

会 長

佐藤 勝紀（岡山大・農・家畜育種学・教授）

理 事

石井 猛（岡山理大・工・教授）

倉林 謙（岡山大・医・附属動物実験施設・助教授）

栗本 雅司（㈱林原生物化学研究所・藤崎研究所長）

高橋 正侑（ノートルダム清心女子大・家政学部・教授）

初鹿 了（川崎医大・名誉教授）

三谷 恵一（岡山大・文・心理学・教授）

山下 貢司（川崎医大・附属病院長）

常務理事

新井 成之（㈱林原生物化学研究所・藤崎研究所・サブディレクター）

大森 齊（岡山大・工・生物機能工学・教授）

亀井 千晃（岡山大・薬・薬物学・教授）

河田 哲典（岡山大・教育・食物学・助教授）

国枝 哲夫（岡山大・農・動物遺伝解析学・教授）

佐藤 芳範（㈱林原生物化学研究所・応用センター・副参事）

辻岡 克彦（川崎医大・生理学・教授）

内藤 一郎（重井医学研究所・超微形態部門・室長）

山本 敏男（岡山大・歯・口腔解剖学第一・教授）

監 事

中永征太郎（ノートルダム清心女子大・家政学部・教授）

河本 泰生（岡山大・農・家畜生産技術学・助教授）

【第40回岡山実験動物研究会の開催】

本年12月8日（金）午後1時30分からメルパルク OKAYAMA（岡山市）で岡山県新技術振興財団の後援で開催します。この研究会では記念・特別講演3題を予定しています。9月26日開催の常務理事会で記念・特別講演の企画や講師について協議することになっていますので、講演内容や講師にご希望のある方は事務局（国枝）または最寄りの常務理事にお知らせいただきますようお願い致します。本研究会のご案内は、会プログラムの出来次第会員の皆様にご案内いたします。

【事務局からのお知らせ】

岡山実験動物研究会は会員皆様のご指導とご支援により、今年12月創立18年目を迎えることになりました。今後も、㈱林原生物化学研究所・藤崎研究所の関係者のご協力を頂きながら、取り組んでいきたいと考えておりますので、会員の皆様には引き続きご鞭撻とお力添えを賜りますようお願い致します。

会の運営、企画などにご希望、ご意見がありましたら、ご遠慮なく事務局または最寄りの常務理事までご連絡下さい。事務局住所は下記の通りです。

〒700-8530 岡山市津島中1丁目1-1

岡山大学農学部 国枝 哲夫

TEL:086-251-8314

FAX:086-251-8388（庶務係）

E-mail:tkunieda@cc.okayama-u.ac.jp

【会費納入のお願い】

平成12年度の年会費として、正会員は1,000円、賛助会員は30,000円（一口）を徴収いたしますので、本会報に挿み込まれている郵便払込通知票を用いて、年会費を郵便局からお振り込みくださいますようお願いいたします。

【編集後記】

特別講演の講師の先生方、会員の皆様からのご協力を得て、第17号研究会報を無事発行することができました。前年度からの懸案であった会報の投稿規定を作成し、本会報に掲載致しました。会員の皆様には投稿規定に則って、引き続き積極的にご投稿いただくようお願い致します。また、会報の編集に関するご希望、ご意見をお寄せ下さい。

今年の「ヒトの遺伝情報をほぼ解読」のニュースは、人類の月面着陸に例えられるほど素晴らしい画期的な出来事と言われています。現在、ゲノム配列の9割がつきとめられ、23対の染色体のうち既に5、16、19、21、22番が解読を終了し、ヒトゲノム解読は遺伝病の発症機構や治療と予防、複雑な生命現象の解明、ヒトの多様性や進化のしくみなどの解明に貴重な情報を提供するものとみられています。

今回は参考資料として最近一年間、新聞紙上に取上げられた生命科学・動物実験に関するトピックスを紹介しました。それらの内容はヒトゲノム解読完了に加えて、遺伝子操作、遺伝子治療、がん細胞の増殖抑制、クローン牛の細胞分裂、染色体の均等分配、骨髄移植、再生血管移植、アルツハイマー病ワクチン開発、DNA分析や画像化など多方面にわたっています。ヒトへの臨床応用をめざした動物実験は不可欠であり、今後益々重要性を増してくるものと思われます。

岡山実験動物研究会会則

(名 称)

第1条 本会は岡山実験動物研究会（英文名：Okayama Association for Laboratory Animal Science）と称する。

第2条 本会は岡山県内並びに県外において実験動物及び動物実験に関心をもつ人々によって組織された団体である。

(目 的)

第3条 本会は実験動物及び動物実験についての知識の交流をはかり、あわせてこれら関連領域の進展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 学術集会、講演会等の開催
2. 会誌及び関係学術資料の刊行
3. 会員相互の連絡
4. その他必要と認められる事業

(会 員)

第5条 本会の会員は次の通りとする。

1. 正会員 本会の目的に賛同して、所定の入会申込書を提出した個人とする。
2. 賛助会員 本会の目的に賛同し、理事会の承認を経て所定の入会申込書を提出した個人または法人とする。
3. 名誉会員 本会の発展に功労があった者で、理事会の承認を経て推薦された者とする。

(役 員)

第6条 本会に次の役員をおく。

1. 理 事 15名以上20名以内（うち、会長1名及び常務理事若干名）
2. 監 事 2名
3. 評議員 若干名

(役員の選任)

第7条 会長及び常務理事は理事の互選によりこれを定める。理事は正会員の互選により選出された者とする。監事及び評議員は理事会が選出し、会長がこれを委嘱する。

(役員の職務)

第8条 役員職務は次の通りとする。

1. 会長は本会を代表し、会務を統轄する。必要に応じ理事会及び常務理事会を召集する。会長に事故あるときは、理事の互選により1名を選び、会長の職務を代行する。
2. 理事は理事会を組織し、本会の会務を審議し、議決する。
3. 常務理事は会長を補佐し、庶務、会計、渉外、集会、広報などの実務を担当する。
4. 監事は本会の会計を監査する。
5. 評議員は評議員会を組織し、会長の諮問を受け、重要事項を審議する。

(役員任期)

第9条 本会の役員任期は2年とし、再選は妨げない。

(会 計)

第10条 本会の経費は正会員並びに賛助会員の会費、寄付金、その他の収入をもってこれにあてる。会計年度は暦年度とし、会費は別に定める。

(運営規則)

第11条 本会の運営はこの会則によるが、会則の変更は理事会の議決を経て、総会の承認を受けることとする。

(総会の構成)

第12条 総会は正会員をもって組織する。

(退 会)

第13条 会員が脱会しようとするときは、脱会届けを会長に提出しなければならない。

(事務局)

第14条 本会に事務局を置く。

本会則は平成2年12月1日より施行する。